

# 新潟市 交通環境に対する市民意識調査【概要版】

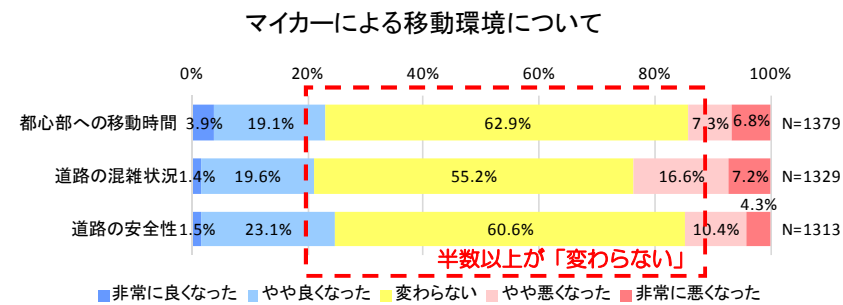
## 調査の概要

- ◆ 調査対象：新潟市に住民登録している満 15 歳以上の男女 4,360 人  
(平成 29 年 8 月 31 日現在)
- ◆ 実施方法：郵送配布、郵送回収により実施した（無記名回答）。
- ◆ 実施日：調査物件発送日：2018 年 2 月 20 日（火）  
回収期限：2018 年 3 月 2 日（金）
- ◆ 調査票の回収状況

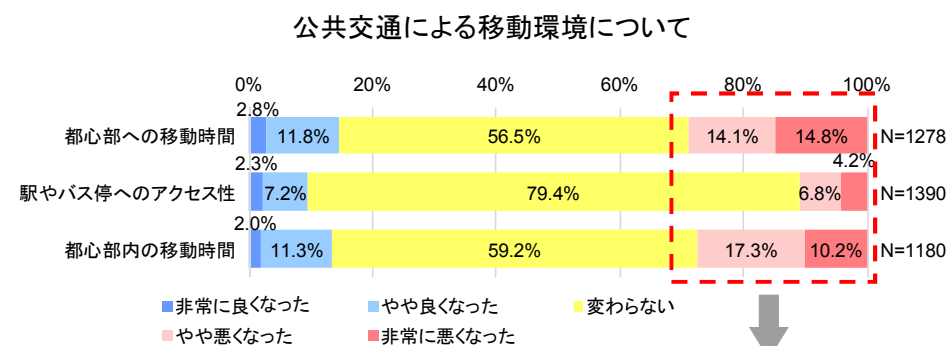
配布数	回収数	回収率
4,360 票	1,742 票	40.0%

## 1. 概ね 10 年前と比較した移動環境の変化

- ：マイカーによる移動環境は、「都心部への移動時間」「道路の安全性」で良くなったとの回答割合が、悪くなったとの割合に比べて高い。
- ✕：一方で、「都心部への移動時間」「道路の混雑状況」「道路の安全性」いずれにおいても半数以上が「変わらない」と回答している。



- ✕：公共交通による移動環境は、悪くなったとの回答割合が、良くなったとの割合に比べて高い。
- ✕：「やや悪くなった」「非常に悪くなった」と回答した方のうち、65 歳以上の方が約 40% 占めている。



■ 「やや悪くなった」「非常に悪くなった」と回答した方の年齢構成

	10代	20~24歳	25~29歳	30代	40代	50代	60~64歳	65~74歳	75歳以上
都心部への移動時間	5.9%	12.0%	17.8%	16.0%	18.9%	23.6%	23.0%	27.0%	31.2%
駅やバス停へのアクセス性	5.9%	4.8%	8.2%	7.3%	8.8%	6.7%	15.8%	11.5%	9.1%
都心部内の移動時間	11.8%	12.2%	15.1%	13.0%	17.0%	21.3%	20.6%	24.9%	24.9%

## 2. 歩いて楽しい賑わいのある空間整備

○：全世代において歩いて楽しい賑わいのある空間整備について意向が高い傾向にある。

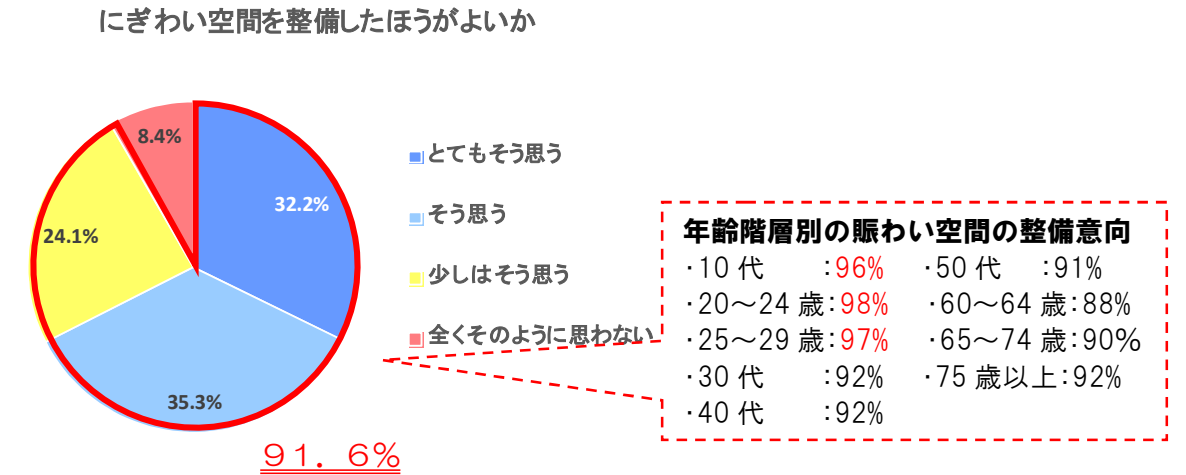
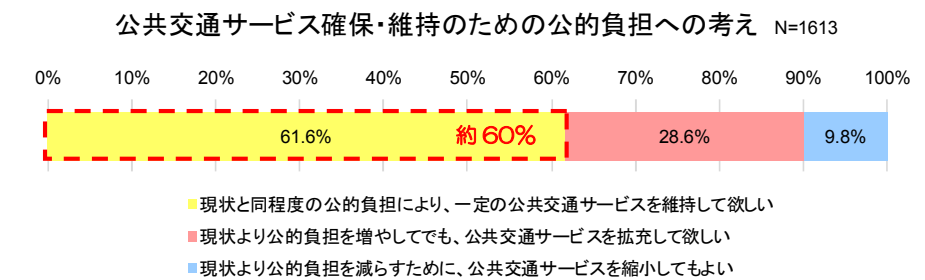


図 賑わい空間を整備したほうがよいか

## 3. 公共交通の費用負担

■：現状と同程度の公的負担による公共交通サービスの維持を望む意見は約 6 割。



## 4. 交通施策の利用の有無

✕：公共交通関連の施策はいずれも利用割合が低い傾向にある。特に住民バスの利用割合は約 5% と最も低い。

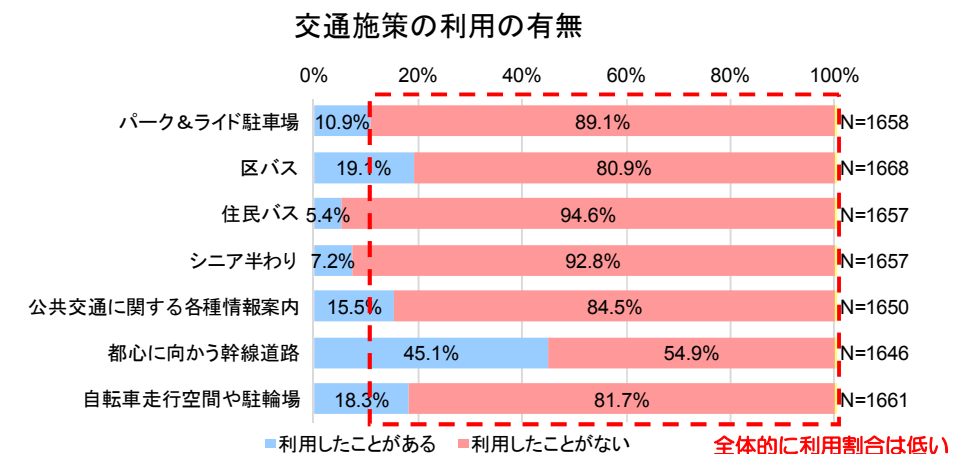


図 主な交通施策の利用の有無(新潟市全体)

## 5. 公共交通の利用意向

- ・約40%の方に公共交通の利用意向がある。
- ・公共交通を利用していない方の大半に利用意向がある。
- ・区別に見ると、南区や西蒲区で利用意向が高い。
- ・年齢階層別では、25歳～64歳の方に公共交通の利用意向が高い。

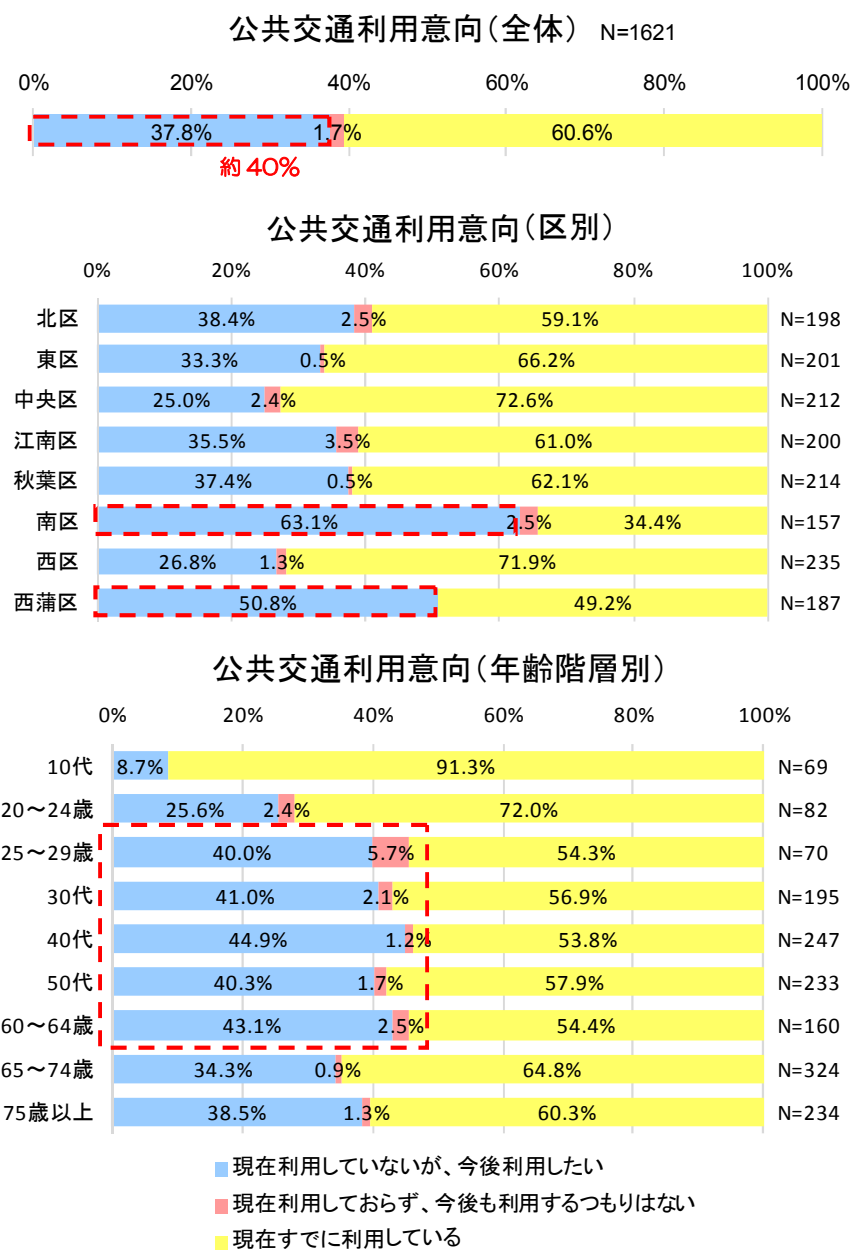
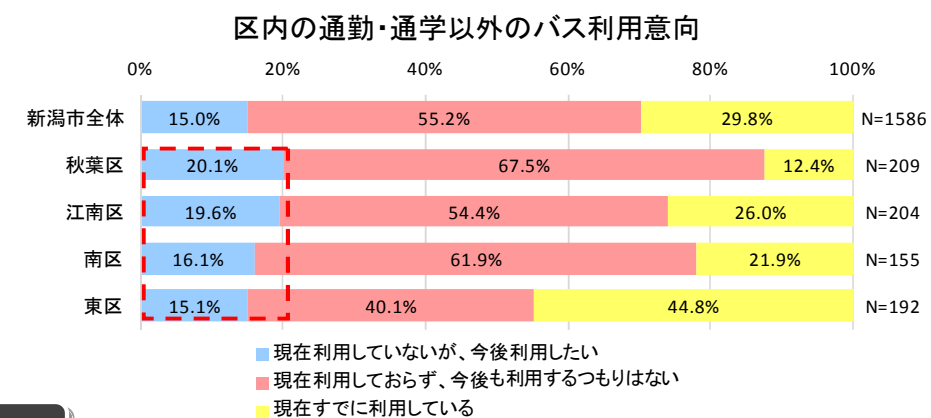
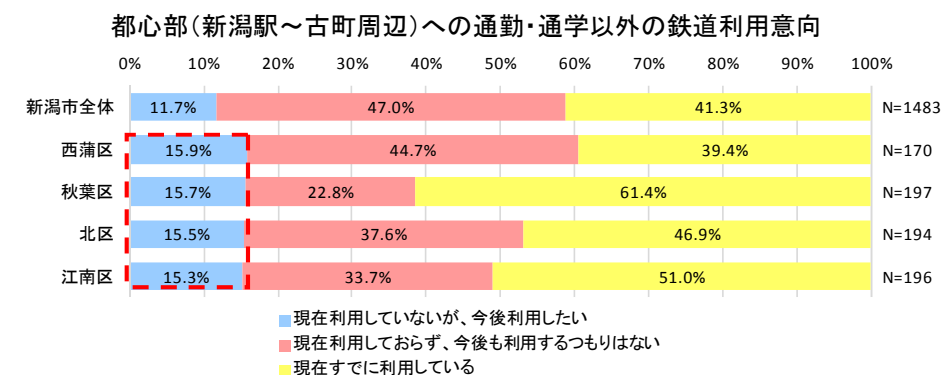
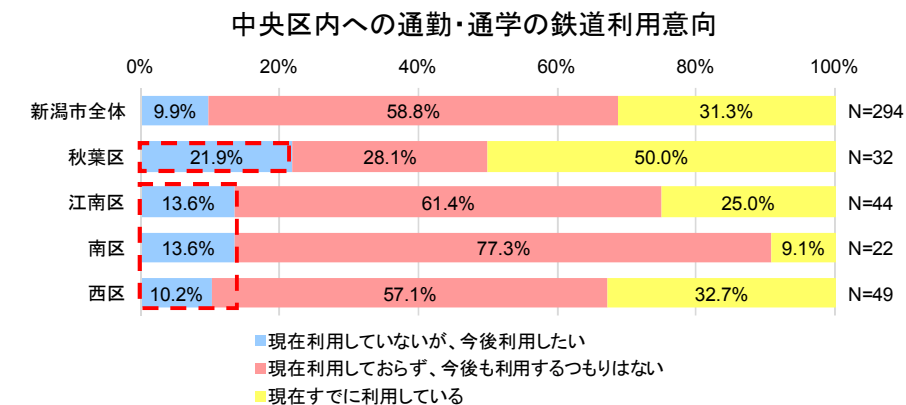


図 公共交通の利用意向(上:新潟市全体、中:区別、下:年齢階層別)

## 6. 目的・目的地別の公共交通利用意向

- ・通勤・通学の鉄道利用意向は、特に秋葉区で高い。
- ・都心部(新潟駅～古町周辺)への通勤・通学以外の鉄道利用意向は、西蒲区、秋葉区、北区、江南区の順で高い。
- ・区内移動での通勤・通学以外のバス利用意向は、特に秋葉区で高い。



### まとめ

- 移動環境については半数以上が概ね10年前と「変わらない」と感じているとともに、交通施策の利用率は低く、未だ道半ばである一方、賑わいのある空間整備など交通施策への意向は高まっているため、引き続き交通施策に取り組んでいく必要がある。
- 公共交通を利用していない方の大半は公共交通を今後利用したいと考えており、区別や年齢、モードに関して利用意向を基に交通施策に取り組んでいく必要がある。